

実効 | Work

会期：2023.4.17 - 11.30

会場：複数に分散

展覧会ロビー：euskeiwa.com/2023work/



ガラ（特別興行）：2023.11.1 - 11.30

ガラ会場：PARA 神保町 2F（東京都千代田区神田神保町 2-20-12 第二富士ビル 2F）

ガラ開場時間等詳細：euskeiwa.com/2023work/gala.html を参照



1. 「実効 | Work」は、あるひとつの作品を遊びつづけ、作品にはたらく新たな動詞「実効」を提案する展覧会です。



2. 本展は、ウェブサイトや、SNS、共同編集されるドキュメント、音声チャンネル、店舗で突発的に開催されるイベント、そして神保町での特別興行「ガラ」など、いくつもの会場・いくつもの会期を持って点在しています。長期にまたがるその散発の総体がこの展覧会です。現在のコアメンバーとして、アートコーディネーターとして活動する西村梨緒葉と、アーティストの大岩雄典が、各会場をとりまとめています。



3. 美術家・大岩雄典は、2022年に作品《カードゲーム》を発表しました。カードに書かれた「呪文」を読み上げることで、それが場に作用するインスタレーション作品です。《カードゲーム》がプレイされていく中でわかったのは、それが作者の手にとどまらない、誰でも拡張=制作ができる可能性に開かれていることでした。作者によるデザインにとどまらず、誰でも新しく戦法がひらめいたり、新たに書いたカードを山札に加えるだけで、作品の空間が拡張されていきます。



参考画像：《カードゲーム》より「ゲームを終える」 写真：浦田牙



4. たとえば将棋が、一度ごとの試合だけでなく、ひとつの共同知がはたらく謎として、集団によって何世紀も「プレイ」されているように、本展は《カードゲーム》を遊びつづけます。



5. 本展は、作品と人間との関わりかたについて、観賞や参加、テストプレイや制作をひっくるめた動詞「実効 (Work)」に誘います。現在のコアメンバーとして、アートコーディネーターとして活動する西村梨緒葉と、《カードゲーム》作者である大岩が、各会場をとりまとめています。これまで展覧会に前提されてきたような、作品・観賞・会場といった言葉を、会話やドキュメントの共同編集によって現在進行形で書き換えるハッキング（呪文の詠唱）を、本展は試みています。



6. アーティストも観客も境目なく、ともに《カードゲーム》という作品を「実効」する現場が、本展の会場です。現在も、ある場所ではプレイ中に新しいカードが思いつかれ、ある場所では白熱した大会が開催され、ある場所では展覧会を構成する概念を練り続けています。どこにおいても、まずは訪れることから実効は始まります。



7. 11月の30日間には、それまで「実効」された成果や、そこから「実効」される可能性が持ち寄られ、共同知が堆積、シェアされるホットスポットとして「ガラ」を PARA 神保町で開催します。それは、日夜オープンする雀荘の形をした、収穫祭です。



毎月、定期的にプレイ会があります。ウェブ上にもいろいろな会場があります。まずは遊びに来てみてください。



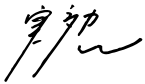
参考画像：展示「可能 | Possible」(PARA 神保町) 写真：大岩雄典

コアメンバー（2023年6月25日時点）



西村梨緒葉（にしむら・りおは）

アートコーディネーター／美術家。1996年生まれ。多摩美術大学美術学部情報デザイン学科メディア芸術コース、東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻卒。主な個展に、「ハッピーエンド」（2021）。第24, 25回文化庁メディア芸術祭受賞作品展アート部門、エンターテインメント部門コーディネーター（2021-22）。同展で花形槇《Uber Existence》存在代行労働ワークショップ／遠隔観賞プログラムの企画・運営（2022）。大岩雄典《カードゲーム》コーディネーターとして活動（2022-）。同作に関連する分散型自律展覧会「実効 | Work」でコアメンバーとして立ち上げから参加（2023-）。



大岩雄典（おおいわ・ゆうすけ）

美術家。東京藝術大学大学院映像研究科博士後期課程在籍。主にインスタレーション・アート制作・歴史研究。最近はマイケル・フリードの批評やメディウムとしてのカード、ゲームについても。主な展覧会に「可能 | Possible」（PARA 神保町）、「渦中のP」（十和田市現代美術館サテライト会場「space」）、「見逃し配信」（The 5th Floor）、「margin reception」（渋谷スクランブルスクエア プラスアートギャラリー）、「無闇 | Blind」（TALION GALLERY）、「バカンス」（トーキョーアーツアンドスペース本郷 / OPEN SITE 5）、「スローアクター」（駒込倉庫）など。文章は『ユリイカ』『美術手帖』『早稲田文学』などに。
euskeoiwa.com